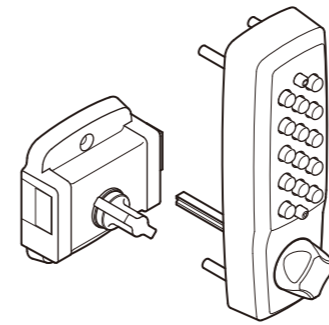


KEYLEX[®] 2100

キーレックス 2100
面付本締錠

取扱説明書（施主様向）

このたびは、当社製品のお買い上げ、ありがとうございます。本取扱説明書は、施主様、又はご入居者にお渡しください。
この説明書は必ずお読みの上、保管してください。



22404
22404M

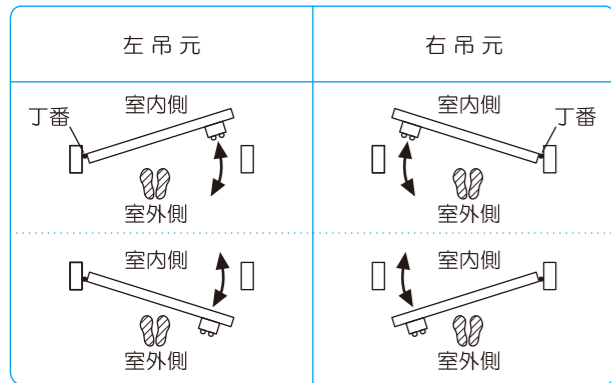


防犯上、記憶番号の変更を定期的におこなうことと、施錠時に記憶番号以外のボタンを空押しすることをおすすめ致します。

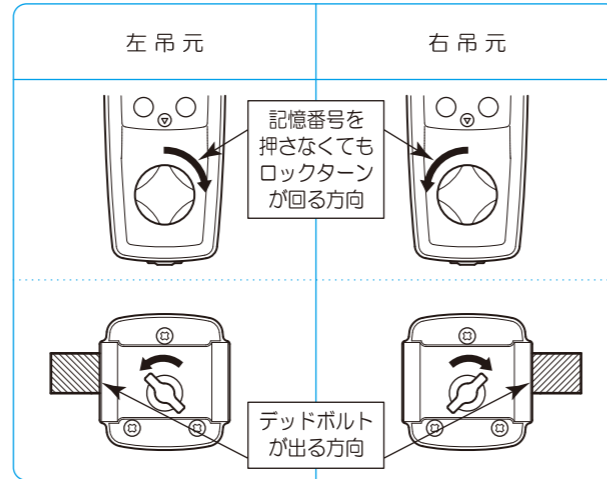
〈記憶番号の記録〉		
年	月	日
年	月	日
年	月	日
年	月	日
年	月	日
ただ今の記憶番号		

吊元と吊元設定の確認

【1】下図で扉の吊元を確認します
キーレックス本体（ボタン側）から見て
扉の丁番が右か左のどちらについているかで
判断します



【2】キーレックス本体と面付室内座の吊元設定を確認します
取り付ける扉と吊元が違う時は、吊元を変更してください
(別紙 取付説明書 ②【2】【3】参照)



記憶番号設定に関するご注意

- キーレックス2100は1～14桁まで任意の記憶番号を設定できます。
- ボタンを押す順番は設定できません。
例) 記憶番号 1・2・3 の場合
1・2・3 と押しても 2・3・1 3・1・2 1・3・2 と押しても解錠できます。
- 1つのボタンにつき設定は1回だけです。(同じボタンを2度押す設定はできません)
例) 1・1・2・3 や 1・2・2・3 の設定はできません。



注意 危険防止の為に以下をお読みください

- 取付時の注意
 - 各部取付ねじの締め付け時は、必ず手動ドライバーをご使用ください。電動ドライバーは使用しないでください。
- 取付ねじのゆるみ
 - 各部取付ねじのゆるみは、防犯及び落下防止の為に定期的にし締めしてください。
- 受座の飛び出し
 - 受座の飛び出しが大きい場合、体を傷つけたり、衣服を引っ掛けるおそれがありますので、取付業者に依頼して適正な受座に取り替えてください。
- 他の用途への使用
 - ロックターンにぶらさがったり、足場にしたり、物を掛けたりしないでください。危険です。
- ◆ 操作上の注意 (故障の原因となります)
 - 製品の分解、改造はしないでください。
 - デッドボルトを突出させた状態で扉を閉めないでください。
 - ボタンを押しながら、ロックターンの操作をしないでください。
- ◆ 永くご使用頂くために
 - 表面の手入れは柔らかな布でから拭きしてください。特にボタンまわりは、定期的から拭きし、汚れがひどい場合は、中性洗剤を使用してください。



取り付けてある建具などに異常がありましたら専門の業者にご相談ください。



www.nagasawa-mfg.co.jp

株式会社 長沢製作所

東京支店 TEL. 03-5383-1811 (代) 福岡出張所 TEL. 092-524-7031 (代)
FAX. 03-5967-3103 FAX. 092-524-7032
大阪支店 TEL. 06-6783-5091 (代)
FAX. 06-6783-5092

基本操作

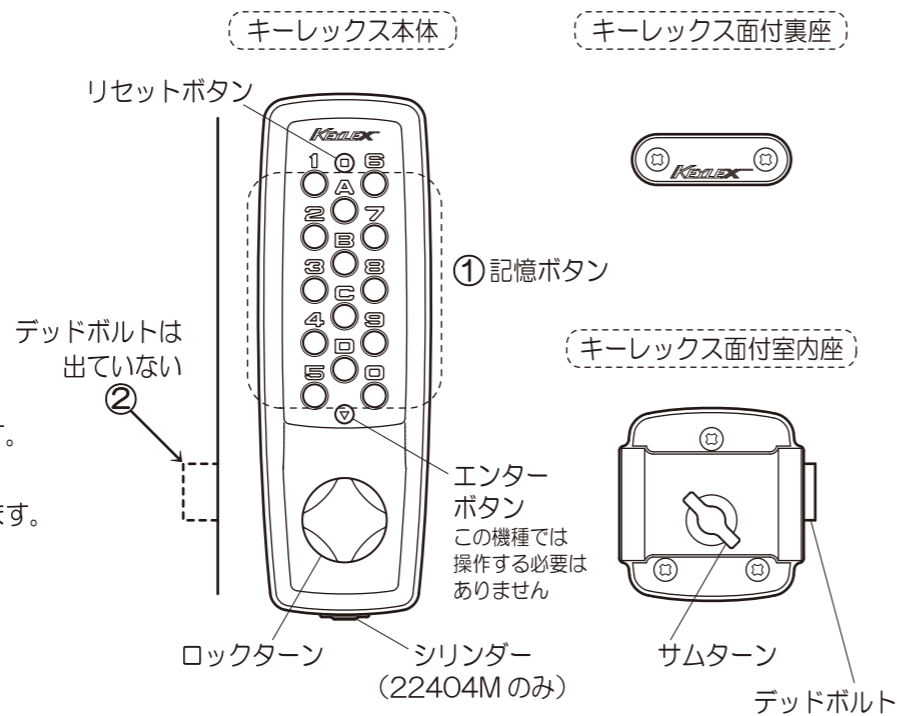
ご使用前に確認してください

- ① 登録している記憶番号
- ② 室内座のデッドボルトが扉から出ていない

鍵付タイプの場合は
記憶ボタン操作の代わりに
キー操作でも開扉できます

- 【施錠】 シリンダーにキーを入れ回し、
デッドボルトが出ることを確認します。
- 【解錠】 シリンダーにキーを入れ回し、
デッドボルトが納まることを確認します。

※ 図は右吊元仕様です
(吊元については4ページの
吊元と吊元設定の確認を参照)



室内側

室外側

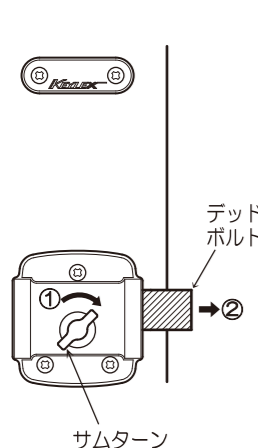
施錠

- ① サムターンを回します
- ② デッドボルトが出て、施錠されます

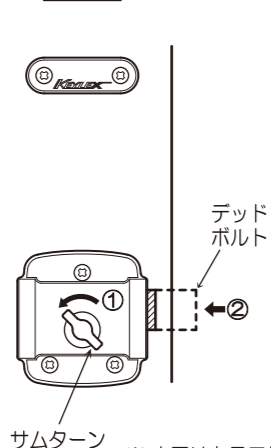
解錠

- ① サムターンを回します
- ② デッドボルトが納まり、解錠されます

施錠



解錠



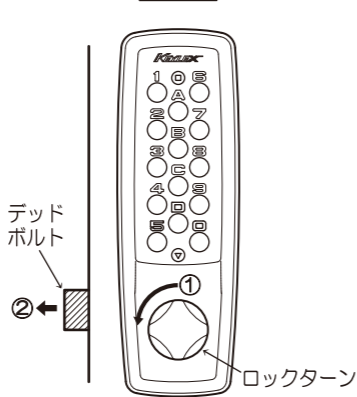
施錠

- ① ロックターンを回します
- ② デッドボルトが出て、施錠されます

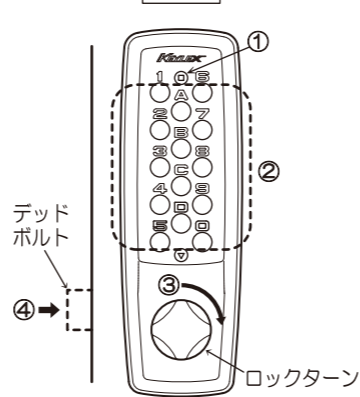
解錠

- ① リセットボタンを押します：誤操作の記憶番号が解除されます
- ② 正しい記憶番号を押します
- ③ ロックターンを回します
- ④ デッドボルトが納まり、解錠されます

施錠



解錠



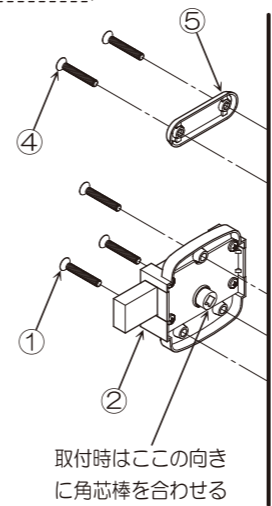
※ 本図は右吊元仕様 (左吊元時は対称)

記憶番号の変更手順 扉は開けたままの状態でおこないます

【1】キーレックス本体を取り外します

取り外した部材は全て使います。紛失しないようご注意ください

室内側

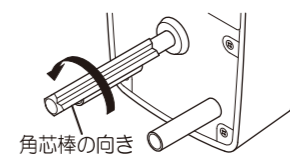


取付時はこの向き
に角芯棒を合わせる

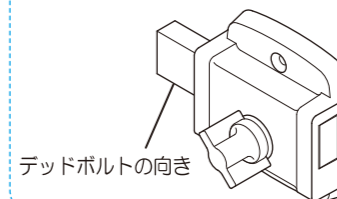
本図は右吊元仕様 (左吊元は対称)

室外側

左吊元取付時の位置

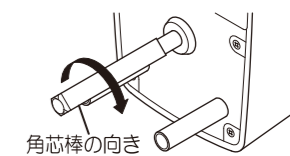


角芯棒の向き

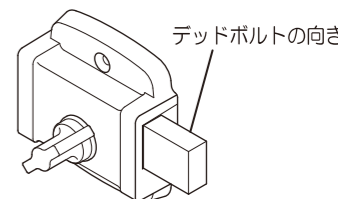


デッドボルトの向き

右吊元取付時の位置



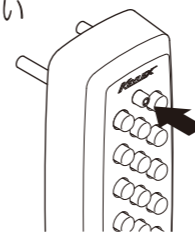
角芯棒の向き



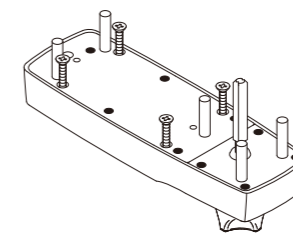
デッドボルトの向き

【2】記憶番号の設定変更をします

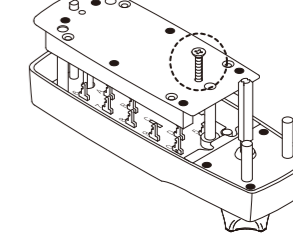
- I 本体表側のリセットボタンを押す
⑧まで記憶ボタンは押さないで
ください



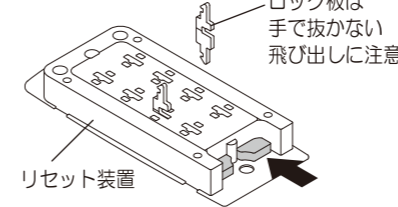
- II 本体裏のねじ4本をはずす
(赤色ねじははずさない)



- III ねじを下図の位置に入れ
持ち上げる



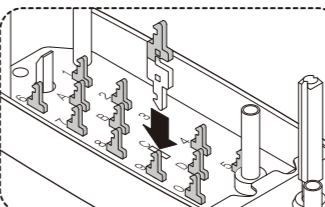
- IV リセット装置にロック板が残った
場合 灰色部を矢印方向に
押しははずす



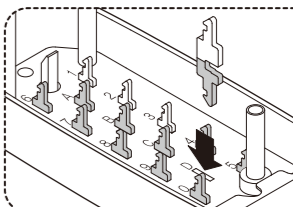
ロック板は
手で抜かない
飛び出しに注意

リセット装置

- V 今までの記憶番号を消す：白色
のロック板を赤色に差し替える



- VI 新規記憶番号をセット：新しく
記憶させる番号のロック板を白
色に差し替える【下図 123D】



- ⑦ 新しい記憶番号を必ず記録します。本紙1ページに記入欄があります
- ⑧ リセットボタン + 新しい記憶番号 を押し、ロックターンが解錠方向に回ることを確認します。

基本操作 室外側欄を参照します

【3】本体を取り付けます

【1】と逆の順番で取り付けます
角芯棒、デッドボルトの向きに注意して取り付けます (上図参照)

取り付けたら、扉を閉めずに2ページの基本操作で作動確認をします